

九夕 日刊 警城時報

本報社址 警城町三丁目一丁目 電話 二二二二

縣の提案を修正し

その通過を期す

小名濱商港問題に關し

民政黨石城部會の態度決定

民政黨石城部會では既報の如く因は水に乏しいためである、よ

健康保険組合規定は

改廢の要がある

之を悪用する労働者

警城炭礦の統計

本部會は縣當局の提案せる小名濱港修築案に對し左の如き修正を期す

平町水道擴張

近く調査立案

平町では一個三分を取入る上水道の工事は完成したが現在の設備では飲料水の使用に差支ないといふだけで到底大口な工業の方面の給水申し込みに應じ得ない、郡山に次ぐ縣内第一増加で本年一月から去る十月迄患者の多いのは争議等による同平町南町に政務幹事長萩原義雄

張り氣の浮立つ三四月頃と酷暑の八九月に於ける溶化器病の續出期であつて前記九ヶ月間の休業者百分比を上げれば左記の如く職員は僅々七分に對する労働者の廿八五分は比例の余りに伴はざることは何人にも思考されるであらうと。

各驛の合同運送店

國際通運に反旗

きのふ平町で協議會

實行委員をあげる

平、磯原並に平、小川郷各驛間社は鐵道省から鐵道特別小口取の合同運送店主協議會は八日扱ひ代理を委任されてゐるため

刑事と格闘した

紳士風の怪賊

昨日内郷村で捕はる

好間村大字北好間字三反田二十氏を相手取り傷害の告訴を警署に提出したので平署伊藤司

萩原氏

逮捕

重信は泥酔して土足のまゝ、あがり込み金を強要した。殴打した覚えはない。自分、泥酔したつゝ、本來なら私の方で家宅侵入、器物破棄の告訴をすべきである。云々

平水道課では九日左の如き水道保護注意

平水道課で

注意書配布

水道保護注意

一、堀の上を架渡したる鉛管には、わらわらき葉を巻付け更に結束し又はひも等を以て固く巻き置くこと

襲ふた賊

藥種商を

四倉町本町藥種商荒川善太郎に七日夜盜賊忍び入り銀行及び計數の簿を握らんとするの郵便貯金通帳、國庫債券等類の發露にして其規定中同業八日朝發見四倉署に届け出で、者の自治的組織を阻碍し代理の

京 染 外 交 員

一 一 十 名 大 至 急 募 集

月 收 入 十 圓 以 上

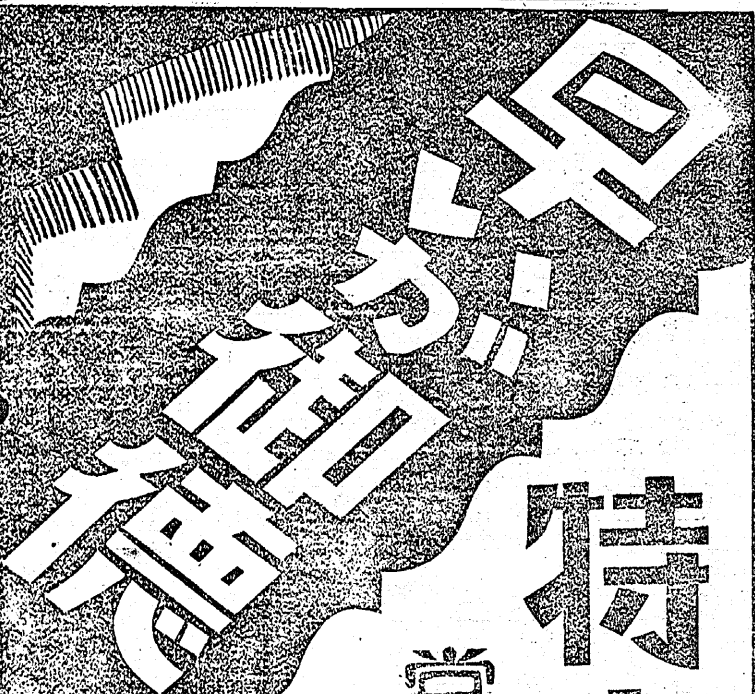
通 勤 又 は 住 込 み (年 齡 問 は ず)

業 務 熟 練 の 上 は 各 地 に 出 張 を 命 じ 尚 ほ 二 ケ 年 以 上 勤 績 の 者 に 對 して は 本 人 希 望 の 土 地 に 派 遣 し 營 業 上 必 要 の 見 本 と 資 金 を 支 給 す

◎ 委 細 は 御 來 談 あ れ

德 岡 總 本 店 東 北 出 張 所 總 本 部

善 鎌 田 善 六 商 店



早 朝 御 禮 特 賣 デー!!! 十 二 月 十 三 日 十 三 日 間

當 日 に 限 り 三 罐 九 拾 五 錢

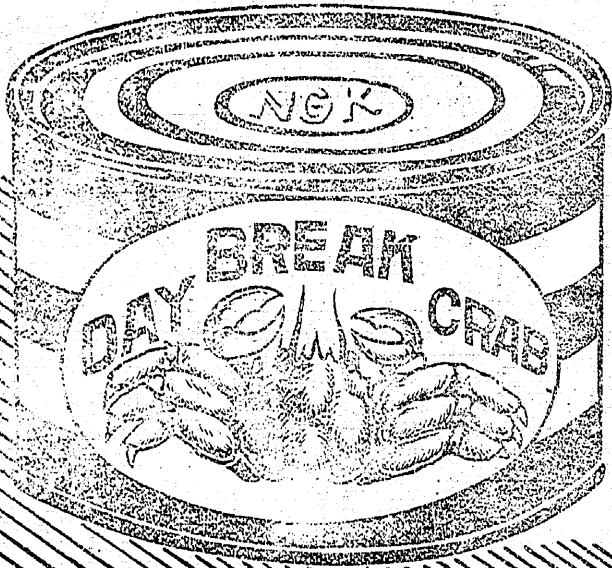
日 暮 の カ 一 罐 詰

二 罐 化 粧 箱 入

赤 線 二 罐
紫 線 一 罐

著 名 百 貨 店 酒 店 食 料 品 店 液 物 店 八 百 軒 販 賣 店

販 賣 地 域 福 島 縣 各 市 町 村



揃 ひ ま し た

冬 の 洋 服 が 値 段 は 一 割 安 乃 至 一 割 安

立 襟 上 下 十 圓 位 以 上 脊 廣 三 組 十 三 圓 五 十 錢 以 上 オ ー バ ー 六 〇 七 圓 位 以 上 其 他 變 っ た い ろ 々 な 冬 の 洋 服 が 澤 山 揃 ひ ま し た

な か や 洋 服 店

平 町 二 丁 目 電 話 二 〇 三 番

寒 さ に 是 非 毛 糸 各 種 新 荷 着

手 編 用 に 防 寒 具 用 に イ ヨ 需 用 が 激 増 し て ま り ま し た 是 非 御 用 命 を

平 町 三 丁 目

三 井 吳 服 店

印 刷 物 は 加 納 活 版 所

牛 肉 大 投 げ 賣 り

並 肉 百 々 金 三 十 錢

上 肉 同 金 五 十 錢

口 肉 同 金 七 十 錢

豚 並 肉 百 々 金 三 十 錢

平 町 停 車 場 前 (平 劇 場 入 口)

良 口 品 廉 賣 に 勝 る 商 略 な し!!!

磐 城 セ メ ン ト 會 社 特 約 店

和 洋 銅 鐵 金 物 問 屋 久 釜 屋 商 店

確 實 敏 捷 且 久 の 生 命 な り!!!

平 町 三 丁 目 電 話 一 九 三 九 番